



支部だより

第 97 号

編集・発行

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

日本気象学会中部支部

電話 052-751-5577

2024. 11. 15

目次

- ・ 中部支部第 26 期役員選挙結果の報告 1
- ・ 2024 年度（令和 6 年度）中部支部総会の報告 2
- ・ 気象サイエンスカフェの開催報告 3
- ・ 第27回公開気象講座「気象衛星ひまわりと地球観測の最前線」のお知らせ 4
- ・ 2024 年度（令和 6 年度）中部支部研究会のお知らせ 5

■中部支部第 26 期役員選挙結果の報告

第 25 期役員の任期が 2024 年 6 月 30 日で満了となるため、第 26 期の支部役員選挙に伴う開票が 6 月 22 日に 千葉正紀会員、矢頭秀幸会員の立会いのもと、選挙管理委員会（渡辺真委員長、小野優委員）により行われました。開票結果は以下のとおりです。なお、第 26 期役員の任期は 2024 年 7 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までの 2 年間です。

1. 理事

東海地区（愛知県、岐阜県、三重県）

- | | | | |
|----|-------|-------|-----------|
| 当選 | 104 票 | 田口 正和 | 愛知教育大学 |
| 当選 | 102 票 | 立花 義裕 | 三重大学 |
| 当選 | 104 票 | 成田 正巳 | 中部航空地方気象台 |
| 当選 | 104 票 | 藤田 司 | 名古屋地方気象台 |
| 当選 | 101 票 | 槇野 泰夫 | 気象予報士会 |
| 当選 | 106 票 | 増永 浩彦 | 名古屋大学 |

北陸地区（富山県、石川県、福井県）

- | | | | |
|----|-------|-------|------|
| 当選 | 105 票 | 安永 数明 | 富山大学 |
|----|-------|-------|------|

長野・静岡地区（長野県、静岡県）

- | | | | |
|----|-------|-------|------|
| 当選 | 106 票 | 轡田 邦夫 | 東海大学 |
|----|-------|-------|------|

2. 会計監査

- | | | | |
|----|-------|-------|------------|
| 当選 | 107 票 | 吉田 真純 | 日本気象協会中部支社 |
|----|-------|-------|------------|

■ 2024 年度（令和 6 年度）中部支部総会の報告

日本気象学会中部支部総会が、7月29日（日）14時30分から名古屋地方気象台会議室で開催されました。開会の辞、藤田司支部長から挨拶の後、吉村香会員を議長に選出、議事を進行了しました。事務局から出席者数と委任状集計の報告があり、総会成立条件を満たすことを確認、その後、支部だより第96号に掲載された議案(1)～(5)について審議されました。

議案(1) 2023年度（令和5年度）中部支部事業報告

事務局より、支部だより(第94号、第95号)発行、第26回公開気象講座、支部研究会、気象サイエンスカフェの開催について報告があり、承認されました。

議案(2) 2023年度（令和5年度）中部支部会計報告

事務局より、2023年度の会計報告があり、承認されました。

議案(3) 2023年度（令和5年度）中部支部会計監査報告

会計監査より、2023年度の支部会計が適切に処理されている旨の報告があり、承認されました。

議案(4) 2024年度（令和6年度）中部支部事業計画案

事務局より、以下の事業計画が提案され、承認されました。

- ・支部だより(第96号、第97号)の発行
- ・第27回公開気象講座の開催
- ・2024年度中部支部研究会の開催
- ・気象サイエンスカフェの開催

議案(5) 2024年度（令和6年度）中部支部予算案

事務局より、今年度の事業計画に基づいた予算案の提案があり、承認されました。

■ 気象サイエンスカフェの開催報告

「第27回気象サイエンスカフェ in 名古屋」

日 時：令和6年11月3日 午後3時から午後4時30分

会 場：名古屋市中区栄三丁目18番1号 デザインセンター7F 7th Café

講 師：名古屋地方気象台 早川宏明 観測予報管理官

テーマ：台風について ～台風のタイプと解析について～

参加者：43名

台風第21号の影響の心配がありましたが、無事開催することができ、多くの方にご参加いただく中、名古屋地方気象台の早川宏明 観測予報管理官をスピーカーにお迎えいたしました。

台風の発生や発達的基础的な内容から台風のタイプについて、ミジェット台風タイプ(中心付近で対流雲がコンパクトにまとまる)、モンスーンジャイアタイプ(中心付近対流雲はまばら)の構造や特性、天気図や気象衛星画像にみられる特徴など分かりやすく説明していただきました。

また、気象庁の台風の強度予測(中心気圧と最大風速)ではドボラック法を用いられており、予報官の熟練した経験に基づく部分が多く、予報技術の継承の重要性についても語られました。

参加者からの多くの質問にも的確に答えていただき、分かりやすく、たいへん興味深い気象サイエンスカフェとなりました。



(日本気象予報士会東海支部 亀山 幸典)

■ 第27回公開気象講座「気象衛星ひまわりと地球観測の最前線」のお知らせ

2025年1月19日(日)に、名古屋市科学館で公開気象講座「気象衛星ひまわりと地球観測の最前線」を開催します。多くの方の応募をお待ち申し上げます。

第27回 公開気象講座「気象衛星ひまわりと地球観測の最前線」

日時 : 2025年1月19日(日)13:00～16:00(12:30開場)

場所 : 名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール

プログラム

「気象衛星ひまわりの役割と次期気象衛星について」

勝山 健一 氏(気象庁 情報基盤部 気象衛星課 衛星整備計画官)

「地球観測衛星による雲・降水観測の最前線」

久保田 拓志 氏(宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター 研究領域主幹)

募集定員 : 200 名

参加料 : 名古屋市科学館の入館に観覧料が必要です。常設展観覧料は大人400円です。

申込方法 : 応募フォームより(<https://forms.office.com/r/afdcwb0cN0>)、先着順です。

申込締切 : 募集定員に達し次第

詳しくは、以下のホームページを参照ください。

日本気象学会中部支部

<https://www.metsoc.jp/chubu/koukaikouza.html>

■ 2024 年度（令和 6 年度）日本気象学会中部支部研究会のお知らせ

中部支部研究会を、11月24日（日）～25日（月）の日程で、名古屋大学において開催します。ご興味のある会員の皆様、是非、会場にお越しく下さい。講演要旨集(PDF電子媒体)は中部支部 Web支部研究会のページ(<https://www.metsoc.jp/chubu/kenkyukai.html>)からダウンロード配布します。要旨集閲覧パスワードは、発表者と会員へ別途お知らせします。

日時：2022 年 11 月 24 日（日）13:00 ～ 17:00

11 月 25 日（月）9:00 ～ 16:00

場所：名古屋大学東山キャンパス（名古屋市千種区不老町）

宇宙地球環境研究所 研究所共同館Ⅱ 3階ホール

交通案内：名古屋市営地下鉄名城線名古屋大学駅2番出入口下車徒歩約15分



※大学への交通案内：<https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/directions.html>

プログラム

11月24日（日）

1. 開会

13:00	開会挨拶	藤田 司（中部支部長／名古屋地方気象台）
-------	------	----------------------

2. 発表

	時程	発表者 (所属)	タイトル
1	13:10	伊藤 忠 (気象予報士会東海支部)	近畿地方を進行する台風による伊勢湾周辺の暴風について
2	13:28	岡田 陸 (名古屋大学)	偏波レーダシミュレータを用いた氷相の雲微物理過程の再検討
3	13:46	錦織 光希 (富山大学)	日本海の冬季雷と温帯低気圧の関係についての統計的解析
4	14:04	本林 英也 (富山大学大学院)	近年の日本海亜表層水温上昇に対する対馬暖流熱輸送の寄与
5	14:22	佐藤 鴻介 (富山大学)	季節内時間スケールにおける海面水温-海面熱フラックス-海上風の関係
	14:40	休憩	
6	14:50	吉川 契子 (静岡城北高校)	高等学校「地学基礎」教科書における「地球温暖化」取り扱いの課題（オンライン）
7	15:08	山下 敏史 (三重大学大学院)	ダウンバーストの強さの大気環境場に基づく推定
8	15:26	大野 悠斗 (三重大学)	日米欧長期再解析データにおける台風へのベストトラックの影響
9	15:44	加藤 慎一郎 (三重大学)	北半球大気中層における気圧配置と寒気動向の変化
10	16:02	渡邊 翔太 (名古屋地方気象台)	深層学習による愛知県大雨発生ガイダンスの開発

講演時間は18分（講演15分、質疑応答3分）

11月25日（月）

	時程	発表者 (所属)	タイトル
11	9:00	徳植 啓康 (名古屋大学)	局地的強雨をもたらす降水コアの雲微物理過程
12	9:18	倉谷 歩乃可 (名古屋大学大学院)	台風VONGFONG(2014)の急発達時の鉛直シアに伴う構造変化
13	9:36	中室 早希 (三重大学大学院)	五島灘における水蒸気フラックスと九州北部における降水の関係 —男女群島での水蒸気連続観測—
14	9:54	吉田 伊吹 (三重大学)	夏季における全球的な気温上昇の原因
15	10:12	佐野 美憂 (三重大学大学院)	2024年3月に沖縄で発生した海上竜巻
	10:30	休憩	
16	10:40	堀内 陽介 (富山大学大学院)	日本周辺の可降水量と海面水温の月別結合関係に対する亜熱帯ジェット気流の影響 (オンライン)
17	10:58	七五三木 滴 (東海大学大学院)	冬季、日本中部山岳地帯風下側に形成される収束線とJPCZとの比較
18	11:16	福田 紫都 (三重大学大学院)	東北沖海水温の上昇が東北地方沿岸の冬季降水量に及ぼす影響
	11:34	昼食休憩	
19	12:40	清水 里桜 (富山大学)	気象衛星ひまわりの高頻度観測を活用した愛知県における雲の日周期変動の解析
20	12:58	長谷川 和哉 (富山大学)	アンサンブル数値予報データを用いた令和2年7月豪雨の発生要因に関する研究
21	13:16	荒川 結子 (富山大学)	海洋大陸における降水の日周期
22	13:34	馬淵 慎也 (富山県立大学)	低高度におけるドローンを用いた降水粒子の初期観測
	13:52	休憩	
23	14:02	西野 光喜 (富山大学)	熱帯海洋上における海上気温調節と降水の関係
24	14:20	澤田 維子 (富山大学)	ドローン観測データを用いた光線追跡法による蜃気楼出現時の光路の再現
25	14:38	大橋 勇介 (三重大学大学院)	黒潮続流の異常北偏に伴う海洋熱波が冬季日本海上で発生するポーラーロウに及ぼす影響

講演時間は18分（講演15分、質疑応答3分）

3. 講評

15:00	講評	増永 浩彦（日本気象学会中部支部理事／名古屋大学宇宙地球環境研究所）
-------	----	------------------------------------